

ホーム

＞ 社長挨拶

＞ 会社概要

＞ 事業内容

▼ プレスリリース

＞ 2019年

＞ 2018年

＞ 2017年

＞ 2016年

＞ 2015年

＞ 2014年

＞ 2013年

＞ 2012年

＞ バックナンバー

＞ 製品＆サービス

＞ サポート＆ダウンロード

＞ 採用情報

プレスリリース

プレスリリースに掲載されている製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

2017年

- 12月22日
[AIで野鳥の鳴き声を認識するソフトウェアの提供開始](#)
- 9月28日
[ネットワークボロロジー3次元可視化ツール「Next Stream Topology Visualizer」にて利用可能な動作環境を拡充](#)
- 9月28日
[「@Drive/Cabinet V03L07」を販売開始](#)
- 8月31日
[信頼性の高いIoTを実現する運用管理システムの提供開始](#)
多様なIoTシステムの信頼性を確保するため、IoTセンサーネットワークの運用を管理する運用管理システム(センサーネットワーク運用基盤：QSIP-Manager)を開発しました。
- 8月9日
[センサーネットワークIoTプラットフォーム（QSIP）に劣悪環境下で使用可能な耐環境センサーノードをラインナップ](#)
劣悪環境下でセンサー監視が可能な「耐環境センサーノード」をセンサーネットワークIoTプラットフォームパッケージ「QNET SensorNetwork IoT Platform」（以下、QSIP）に追加し、劣悪環境下で稼働するセンサーネットワークサービスをご提供致します。
- 5月26日
[Interop Tokyo 2017 に出展します](#)
会場 幕張メッセ
会期 2017年6月7日（水曜日）～2017年6月9日（金曜日）
- 3月3日
[センサーネットワークIoTプラットフォーム（QSIP）に簡易GW機能付き超低消費電力センサーノードをラインナップ](#)
センサーネットワークIoTプラットフォームパッケージ「QNET SensorNetwork IoT Platform」（QSIP）のラインナップとして、超低消費電力技術により乾電池駆動で12ヶ月のセンサー監視が可能な「超低消費電力センサーノード:QSIP-LE (Low Energy)」を追加します。
- 2月20日
[シマフクロウの生息域調査を支援する取り組みが平成28年度「日本自然保護大賞」において選考委員特別賞を受賞](#)
[富士通 / 富士通九州ネットワークテクノロジーズ]
- 1月17日
[センサーネットワークIoTプラットフォーム（QSIP）に低消費電力で広域をカバー可能なLoRa通信ユニットをラインナップ](#)
センサーネットワークIoTプラットフォームパッケージ「QNET SensorNetwork IoT Platform」（QSIP）の通信ユニットのラインナップとして、低消費電力かつ広域をカバーすることが可能な無線通信技術LoRaを採用した通信ユニットを追加します。

関連リンク

- [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

- [利用条件](#)
- [個人情報保護ポリシー](#)

[富士通ホームへ >>](#)

ホーム

＞ 社長挨拶

＞ 会社概要

＞ 事業内容

▼ プレスリリース

＞ 2019年

＞ 2018年

＞ 2017年

＞ 2016年

＞ 2015年

＞ 2014年

＞ 2013年

＞ 2012年

＞ バックナンバー

＞ 製品＆サービス

＞ サポート＆ダウンロード

＞ 採用情報

PRESS RELEASE

2017年12月22日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

関連リンク

- ＜ 当社へのお問い合わせ

このコンテンツについて

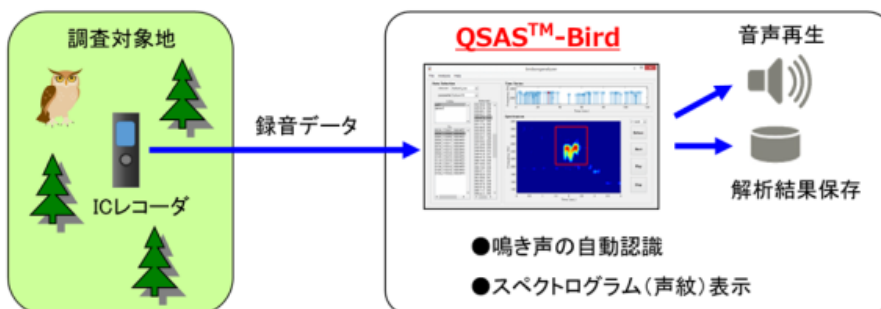
- ＜ 利用条件
- ＜ 個人情報保護ポリシー

AIで野鳥の鳴き声を認識するソフトウェアの提供開始

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、自然環境調査での利用を目的とした、録音音声から野鳥の鳴き声を認識するソフトウェア「QSAS-Bird」（※1）の提供を開始します。

※1. QSAS-Bird: QNET Sound Analysis System – Bird song analyzer

本製品は、AI技術により野鳥の鳴き声を認識するソフトウェアです。自然環境調査における調査員の負担を軽減すると共に、調査の効率化・高精度化を実現します。音声認識の対象はシマフクロウから提供を開始し、今後対象種を順次拡大していきます。また、個別カスタマイズや本製品による音声解析サービスも提供可能です。



QSAS-Birdを活用した調査手法

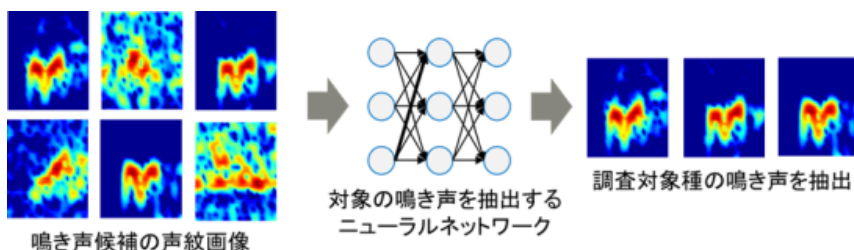
製品名

- QNET Sound Analysis System – Bird song analyzer (QSAS-Bird)

特長

- 録音音声を自動認識して野鳥の存在を確認することで、自然環境調査を効率化
- 雑音抑圧とAI技術（※2）の活用により、高い認識性能を実現
- スペクトログラム（声紋）表示と音声再生を最適化し、微弱な鳴き声も目と耳で確認可能

※2. 鳴き声の判定にはディープラーニングを活用したAI技術を適用しています（下図）



販売開始


- 2017年12月

関連リンク

- 製品紹介ページ
 - <http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/services/qsasbird/index.html>

お問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

 電話 092-852-8159

 E-mail: qnet-bird@cs.jp.fujitsu.com

以上

[ページの先頭へ](#) 

[ホーム](#)[社長挨拶](#)[会社概要](#)[事業内容](#)[プレスリリース](#)[2019年](#)[2018年](#)[2017年](#)[2016年](#)[2015年](#)[2014年](#)[2013年](#)[2012年](#)[バックナンバー](#)[製品＆サービス](#)[サポート＆ダウンロード](#)[採用情報](#)

PRESS RELEASE

2017年9月28日

関連リンク

- [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

- [利用条件](#)
- [個人情報保護ポリシー](#)

ネットワークトポロジー3次元可視化ツール「NXS-TVL」にて利用可能な動作環境を拡充

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、ネットワークトポロジー3次元可視化ツール「Next Stream Topology Visualizer（NXS-TVL）」において、利用可能な動作環境を拡充します。

NXS-TVLは、ネットワークのトポロジーを3次元表示可能とし、ネットワーク監視画面等の可視化をサポートするビューアツールです。

3次元表示で表現することにより直感的にシステムの状況が理解できるため、システムの状態把握や制御操作が容易になることに加え、監視員の導入教育や経営者層へのシステム状況説明などもスムーズに行えます。

これまで、NXS-TVLは、Google Chromeブラウザのみ利用可能でしたが、この度、Microsoft Internet Explorerでも利用して頂けるようになりました。

また、あわせて、利用可能なOS、Webサーバを拡充しましたので、この機会に本製品の適用をご検討ください。

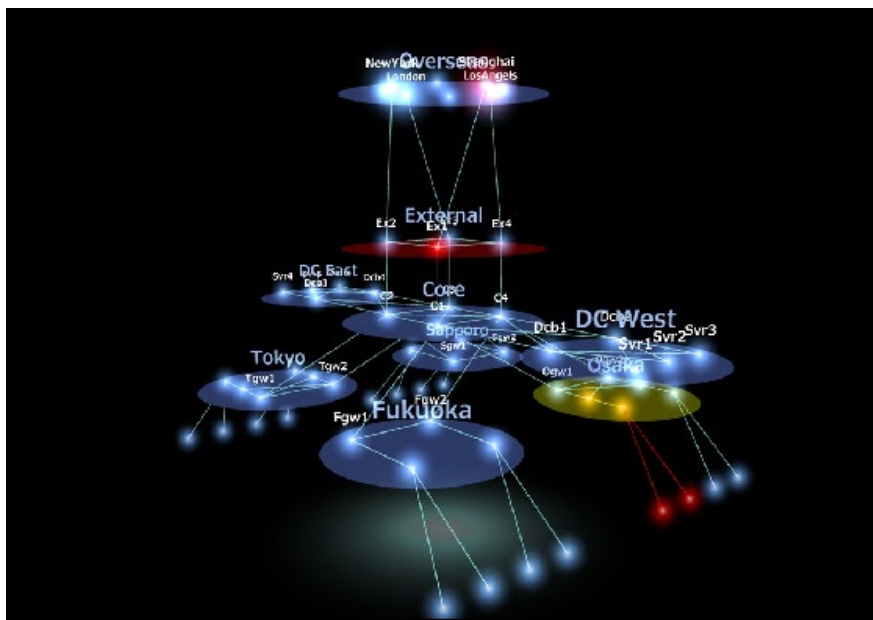


図. ネットワーク監視への適用例

[クライアント動作環境]

- ブラウザ：Google Chrome バージョン60以上、
Microsoft Internet Explorer 11
- OS：Microsoft Windows 7 SP1、Windows 8.1、Windows 10

[サーバ動作環境]

- Webサーバ：Apache 2.2または、Apache 2.4
- OS ：Apacheが動作可能なOS

製品名

- Next Stream Topology Visualizer（NXS-TVL）

関連リンク

- 製品紹介ページ
 - <http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/services/nxstvl/>

販売開始


- 2017年9月

価格（税別）

- サーバライセンス（1台あたり）
 - 一括ライセンス：180万円～
 - 年間ライセンス：60万円～
- 個別カスタマイズ、年間保守サービス等、各種サービスもご用意しています。

本件に関するお問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

 電話 092-852-8034（直通）

 E-mail:qnet-nxs@cs.jp.fujitsu.com

以上

[ページの先頭へ](#) 

[ホーム](#)[社長挨拶](#)[会社概要](#)[事業内容](#)[プレスリリース](#)[2019年](#)[2018年](#)[2017年](#)[2016年](#)[2015年](#)[2014年](#)[2013年](#)[2012年](#)[バックナンバー](#)[製品&サービス](#)[サポート&ダウンロード](#)[採用情報](#)

PRESS RELEASE

2017年9月28日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

「@Drive/Cabinet V03L07」を販売開始

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、Webベースのファイル共有システム「@Drive/Cabinet（アットマークドライブ・キャビネット）V03L07」を提供開始します。

「@Drive/Cabinet」は直感的な操作性が特長のファイル共有システムです。2005年の発売以来多くのお客様にご利用いただいております。継続的に機能拡充を行っています。このたび利用可能なクライアントの動作環境として、新たに Windows 10 をサポートしましたので、この機会に本製品の適用をご検討ください。

製品名

- @Drive/Cabinet（アットマークドライブ・キャビネット）V03L07

特長

- 簡単：Windowsエクスプローラライクな操作性
- 安心：システムやファイルのアクセスログを確認することで情報漏えい抑止効果
- 安全：フォルダ単位に4段階（所有権、更新権、参照権、権利なし）の権限設定
- 便利：ほしいファイルがすぐ見つかるファイル名検索機能

関連リンク

- 製品紹介ページ
 - <http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/services/atdrive/>

販売開始

- 2017年9月

本件に関するお問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

☎ 電話 092-852-3023（直通）

✉ E-mail: qnet-atmark-drive@cs.jp.fujitsu.com

関連リンク

- [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

- [利用条件](#)
- [個人情報保護ポリシー](#)

以上

[ページの先頭へ](#)

ホーム

＞ 社長挨拶

＞ 会社概要

＞ 事業内容

＞ プレスリリース

＞ 2019年

＞ 2018年

＞ 2017年

＞ 2016年

＞ 2015年

＞ 2014年

＞ 2013年

＞ 2012年

＞ バックナンバー

＞ 製品＆サービス

＞ サポート＆ダウンロード

＞ 採用情報

PRESS RELEASE

2017年8月31日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

関連リンク

- ・ [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

- ・ [利用条件](#)
- ・ [個人情報保護ポリシー](#)

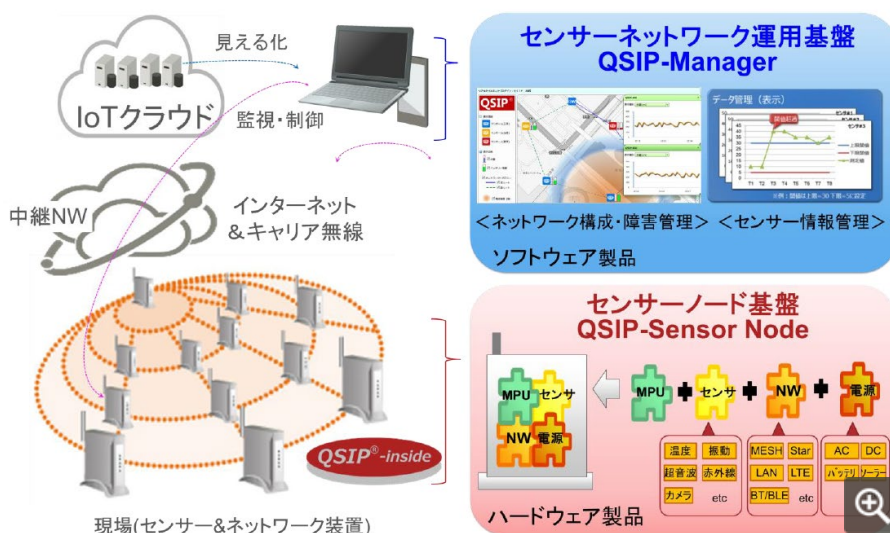
信頼性の高いIoTを実現する運用管理システムの提供開始

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、多様なIoTシステムの信頼性を確保するため、IoTセンサーネットワークの運用を管理する運用管理システム(センサーネットワーク運用基盤：QSIP-Manager)（※1）を開発しました。（2017年8月提供開始）

※1. QSIP-Manager: QNET Sensor Network lot Platform – Manager

本製品は、センサーの監視・管理を行うとともに、センサーネットワークの見える化によりIoTシステムの安定稼働と信頼性向上を実現します。またセンサーノード基盤と合せて、ワンストップかつスピーディなIoTシステムの提供を実現します。

システム構成図



システム適用事例



提供機能

- ・ センサーノードの正常性の遠隔監視を実現
- ・ センサーノードへの遠隔制御を実現
- ・ センサーノードから収集した情報を蓄積し、グラフ等による見える化を実現
- ・ マップによる表示やメールでの異常通知により確実な状況把握を実現

※ 導入時や障害時に電波干渉を調査するための無線電波の見える化を開発検討中

関連リンク

- 製品＆サービスのご紹介
 - <http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/services/qsip/manager/index.html>
- QSIPのご紹介
 - <http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/services/qsip/index.html>

お問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

第一ソリューション統括部

☎ 電話:092-852-3132

✉ E-mail:qnet-iot@cs.jp.fujitsu.com

以上

[ページの先頭へ](#) 

[ホーム](#)[社長挨拶](#)[会社概要](#)[事業内容](#)[プレスリリース](#)[2019年](#)[2018年](#)[2017年](#)[2016年](#)[2015年](#)[2014年](#)[2013年](#)[2012年](#)[バックナンバー](#)[製品＆サービス](#)[サポート＆ダウンロード](#)[採用情報](#)

PRESS RELEASE

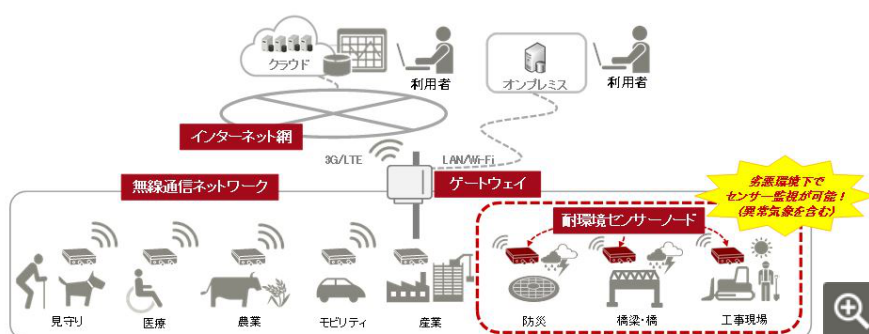
2017年8月9日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

センサーネットワークIoTプラットフォーム（QSIP）に
劣悪環境下で使用可能な耐環境センサーノードをラインナップ

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、IoT装置にとって過酷な環境が増え続けているということを想定し、劣悪環境下でセンサー監視が可能な「耐環境センサーノード」をセンサーネットワークIoTプラットフォームパッケージ「QNET SensorNetwork IoT Platform」（以下、QSIP）に追加し、劣悪環境下で稼働するセンサーネットワークサービスをご提供致します。

システム適用イメージ



機器外観



表面

裏面

※サイズ（参考）：154mm×154mm×52mm（突起物含まず）

製品の特徴

1. 耐環境性に優れた筐体機構
マンホール内や工場設備など、これまでセンシングが困難だった『防水・防塵』『耐振動』『耐候性』が求められる劣悪環境下で使用可能です。
2. 取付工事不要
鉄蓋等の鉄部には強力マグネットによる取付が可能。
また、内蔵バッテリーやエネルギーハーベスタ（熱電変換）*1による電源駆動により、ケーブル接続や装置の固定など特殊な工事は不要です。
*1エネルギーハーベスタ（熱電変換）はオプションです。

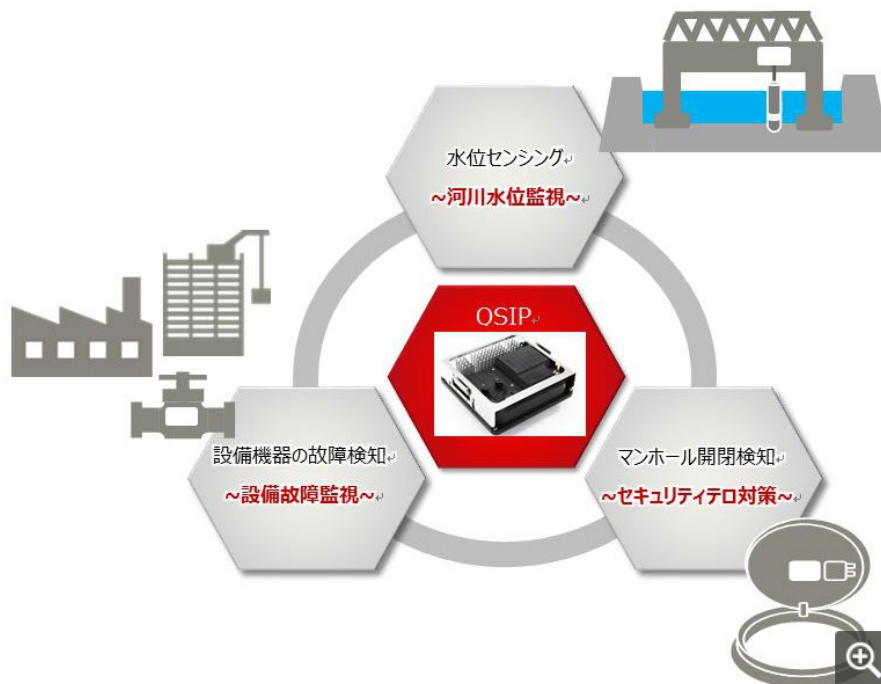


マンホール鉄蓋装着イメージ

3. センサーを標準搭載

振動センサー（加速度3軸/角速度3軸）を標準搭載し、その他のセンサー収容のご要望に関しましては、個別対応致します。

適用事例



QSIPとは

QSIPは、様々なセンサーやネットワークモジュールの組み合わせによるセンサーネットワークの構築から、監視と制御を行う運用システム、収集されたセンサー情報を活用するIoTアプリ等、データの収集から管理まで一括で提供することが可能なプラットフォームパッケージです。

QSIPのご紹介

<http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/services/qsip/index.html>

QSIP関連プレスリリースのご紹介

【簡易GW機能付き超低消費電力センサーノード(QSIP-LE)】

<http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/resources/news/press-releases/2017/0303.html>

【低消費電力で広域をカバーすることが可能な無線通信ユニット】

<http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/resources/news/press-releases/2017/0117.html>

【食・農クラウドAkisai施設園芸SaaS向け温湿度センサー】

<http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/resources/news/press-releases/2016/0831.html>

【下水道氾濫検知ソリューション】

<http://pr.fujitsu.com/jp/news/2016/08/15.html>

【センサーネットIoTプラットフォーム】

<http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/resources/news/press-releases/2016/0310.html>

お問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

第一ソリューション統括部

☎ 電話:092-852-3132

✉ E-mail:qnet-iot@cs.jp.fujitsu.com

以上

[ページの先頭へ](#) 

[ホーム](#)[＞ 社長挨拶](#)[＞ 会社概要](#)[＞ 事業内容](#)[▼ プレスリリース](#)[＞ 2019年](#)[＞ 2018年](#)[＞ 2017年](#)[＞ 2016年](#)[＞ 2015年](#)[＞ 2014年](#)[＞ 2013年](#)[＞ 2012年](#)[＞ バックナンバー](#)[＞ 製品＆サービス](#)[＞ サポート＆ダウンロード](#)[＞ 採用情報](#)

PRESS RELEASE

2017年5月26日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

Interop Tokyo 2017に出展します

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、来る6月7日～9日の3日間、千葉県幕張メッセで開催される国内最大級のネットワーク関連イベント「Interop Tokyo 2017」に富士通グループとして出展します。

多くの機器を管理したり、大量のセンシングデータを活用したり、様々なIoTシステムを活用する取り組みが進んでいます。

当社は、お客様の取り組みを実現するために必要なセンサーネットワークの構築、IoT機器の管理・制御等の製品化を進めており、最先端技術を用いた具体的な事例を紹介します。

また、ShowNetスポンサーステージで、テーマ：『飛ぶ、届く、LoRa ～IoT実証をやってみてわかったこと～』のプレゼンテーションを行いますので、多数のお客様のご来場をお待ちしております。

展示の見どころ：

「様々なセンサーやネットワークモジュールの組み合わせによるセンサーネットワークの構築」、「監視と制御を行う運用システム」、「収集されたセンサー情報を活用するIoTアプリ」など、データの収集から管理まで一括で提供することが可能なプラットフォームパッケージである『QSIP（QNET SensorNetwork IoT Platform）』を展示いたします。QSIP®は、発売以来、マンホール内の水位を測定するセンサー装置など、様々なIoT分野のセンサー装置に採用されています。

今回は、QSIP®に、長距離無線を実現するLPWA（Low Power Wide Area）ネットワークの一つであるLoRa通信方式を採用することで、IoTサービスをご導入されるお客様に、コストメリットなど、新たな価値を提供いたしました。

また、株式会社富士通研究所が開発した920MHz帯対応「電波干渉可視化技術」を使った可視化ツールを併せて紹介いたします。QSIPの提供するハード・ソフトと組み合わせることにより、IoTシステム構築の効率化を実現します。

<QSIP®-LoRaの特長>

QSIP®に、長距離無線を実現するLPWA（Low Power Wide Area）ネットワークの一つであるLoRa通信方式を採用することで、IoTサービスをご導入されるお客様に新たな価値を提供いたします。

- 従来無線方式と比較して初期導入費用を抑制

1台のゲートウェイで広域エリア（数100m～数Km）の通信が可能です。その結果、ゲートウェイの設置台数を減らすことができ、ゲートウェイの導入費用を抑えることができます。

- 無線免許申請が不要

920MHz帯を使用した特定小電力無線であるため、無線局への無線免許申請が不要です。

- ランニングコストを抑制

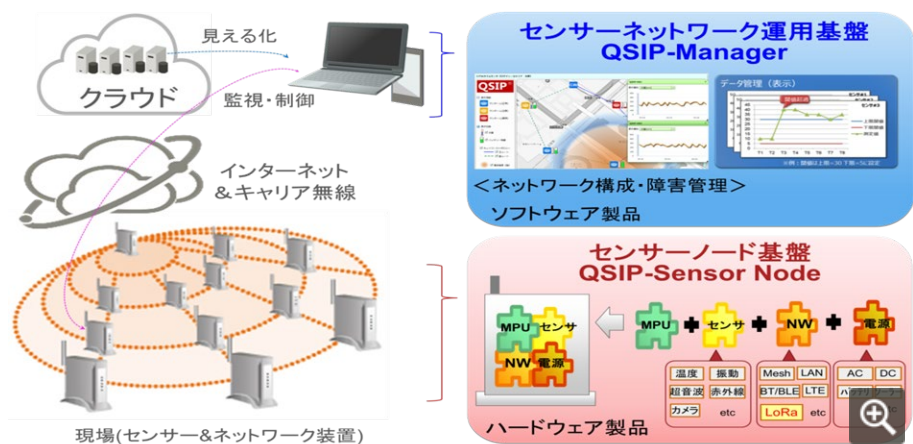
関連リンク

- [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

- [利用条件](#)
- [個人情報保護ポリシー](#)

LoRaを使った長距離無線ネットワークを構築することにより、多数のIoTデバイスを監視する場合のゲートウェイで構成することができ、通信費などのランニングコストを抑えることができます。



<機器構成>

当社QSIP®-LE（※1）と組み合わせることで、乾電池駆動での長期間動作が可能となり、今までIoT導入が困難であった場所（例えば、電源敷設が困難な山中など）への導入をご検討いただけます。



※1) QSIP®-LE・・・専用ハードウェアによる超低消費電力技術により、乾電池駆動で12ヶ月（*）の監視動作が可能

*連続稼働時間は、当社測定条件による

<機器概観>

- 筐体は、設置条件（屋外向け防水など）に合わせて6種類用意していますが、お客様のご要望・設置条件に合わせてカスタマイズ可能です。
- 内蔵基板は、通信インターフェース、センサーインターフェースをカスタマイズ可能です。



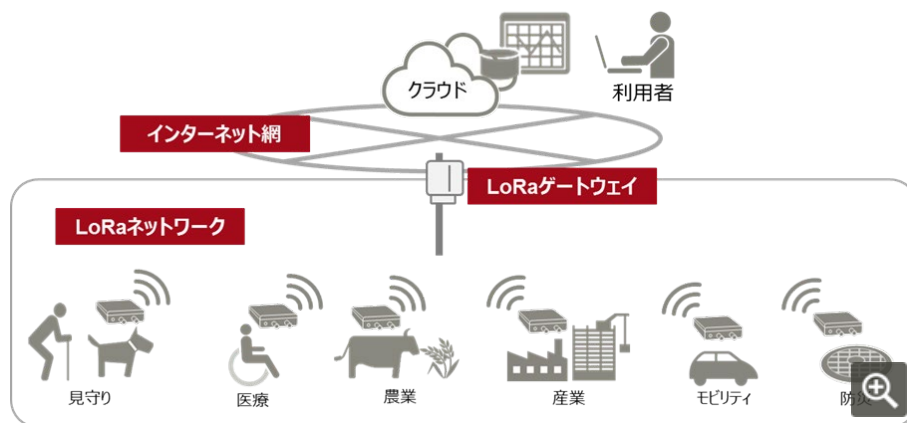
[筐体]



[内蔵基板]

<システム適用イメージ>

- マンホール内部など無線環境的に厳しい場所でのセンシング
- 山中や海上など広域なエリアでのセンシング
- 携帯網などの不感地帯におけるセンシングエリア拡大



富士通グループブース（ホール4）にて、スタッフ一同、心よりお待ちしております。

展示会概要

開催日	2017年6月7日（水曜日）～6月9日（金曜日）
会場	幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1）
富士通グループブース小間番号	ホール4（4N32）
主催	Interop Tokyo 実行委員会
運営	一般財団法人インターネット協会 株式会社ナノオプト・メディア
URL	http://www.interop.jp/ 
関連ページ	http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/resources/news/press-releases/2017/0117.html http://pr.fujitsu.com/jp/news/2016/05/25.html

出展予定製品

<出展予定>

●QSIP

QSIP（QNET SensorNetwork IoT Platform）の以下製品を展示

①QSIP-LoRa

LoRa通信方式を採用した通信基盤です。超低消費電力技術を搭載したQSIP-LEと組み合わせます。

②QSIP-Manager

センサー機器の監視・制御、およびセンサーの配置に関する各種支援等を行うソフトウェアです。

●電波干渉可視化技術（富士通研究所）

LoRaの拡散変調を可視化する技術を紹介

IoT機器を設置した現場で実際に使われている無線通信を自動識別して表示し、通信規格ごとに、チャンネルや場所ごとの混雑状況を可視化します。これにより、IoT機器の適正な設置位置、データ送出間隔、チャンネルの設定などを専門家でなくても簡単に決められるようになりました。今回はLoRaの拡散変調を可視化する920MHz帯を参考出展します。

参考プレスリリース：IoTサービスの迅速な提供を実現するフィールドエンジニアリング技術を開発（2016年5月25日）

<http://pr.fujitsu.com/jp/news/2016/05/25.html>

<ShowNetスポンサーステージ>

- テーマ：『飛ぶ、届く、LoRa 〜IoT実証をやってみてわかったこと〜』

日時：6月8日（木曜日） 16時～16時20分

場所：スポンサーステージ特設会場（ホール4）

お問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社ビジネス戦略室

☎ 電話：092-852-3143

✉ E-mail：qnet-iot@cs.jp.fujitsu.com

以上

[ページの先頭へ](#) 

[ホーム](#)[社長挨拶](#)[会社概要](#)[事業内容](#)[プレスリリース](#)[2019年](#)[2018年](#)[2017年](#)[2016年](#)[2015年](#)[2014年](#)[2013年](#)[2012年](#)[バックナンバー](#)[製品＆サービス](#)[サポート＆ダウンロード](#)[採用情報](#)

PRESS RELEASE

2017年3月3日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

センサーネットワークIoTプラットフォーム（QSIP）に
簡易GW機能付き超低消費電力センサーノードをラインナップ

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、超低消費電力技術により乾電池駆動で12ヶ月のセンサー監視が可能な「超低消費電力センサーノード: QSIP-LE（Low Energy）」をセンサーネットワークIoTプラットフォームパッケージ「QNET SensorNetwork IoT Platform」（以下、QSIP）に追加します。

【機器外観】



筐体

参考サイズ：135mm×76mm×27mm
(単3電池2本時)

内蔵基板（QSIP-LE）

通信IF、センサーIFをカスタマイズ可能です。

【機器構成例1】

簡易GW機能付きセンサーノード
(3G/LTE DongleをUSB接続)

【機器構成例2】

長距離NW（LoRa）センサーノード
(QSIP-LoRaユニットを基板上に搭載)

センサーの監視・タイマー処理を実行する監視ブロックを持ち、センサーデータに変化があった場合や定期的にセンシングデータを送信します。

QSIP-LEの特長

- 電源工事不要/ケーブルレスで装置の設置、移設が可能です。
超低消費電力制御により単3乾電池2本で12ヶ月の監視が可能になります（*1）。
（*1）：稼働時間は特定の条件での試算値であり、監視するセンサー、監視周期、クラウド通信処理、乾電池によって変化します。
【適用例】
。屋外、屋内でAC電源の使用が難しい場所でのセンシング
- 簡易GWとしてクラウド接続に対応できます。
オプションの通信モジュール（3G/LTE USB Dongle）を接続することで、簡易GWとして装置単体でクラウドへの通信が可能です。
通信プロトコル：HTTP（REST API）/HTTPS（REST API）に対応（*2）
（*2）：MQTT（Message Queue Telemetry Transport）対応計画中
【適用例】

関連リンク

- [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

- [利用条件](#)
- [個人情報保護ポリシー](#)

- 。回収ボックス/容器内の残量監視や定期的なセンシング

3. 長距離センサーNW構築が可能です。

2017.1.17にプレスリリースした長距離無線を実現する通信ユニットQSIP-LoRaを搭載することで、長距離センサーNW構築が可能です。

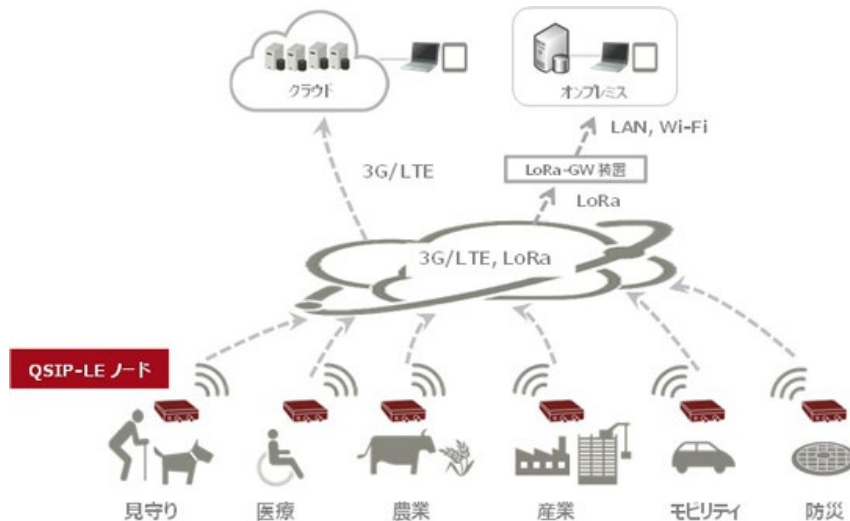
【適用例】

- 。山中や海上など広域なエリアでのセンシング
- 。携帯網などの不感地帯におけるセンシングエリア拡大

4. お客様のシステム環境に応じてネットワークを構成可能です。

オプションの通信モジュールを選択することで、オンプレミス/クラウドサーバへの接続が可能です。

【システムイメージ】



QSIPとは

QSIPは、様々なセンサーやネットワークモジュールの組み合わせによるセンサーネットワークの構築から、監視と制御を行う運用システム、収集されたセンサー情報を活用するIoTアプリ等、データの収集から管理まで一括で提供することが可能なプラットフォームパッケージです。QSIPは昨年の発表以来、マンホール内の水位を測定するセンサー装置など、様々なIoT分野のセンサー装置に採用されています。

QSIPのご紹介

<http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/services/qsip/index.html>

お問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

ソリューション統括部

☎ 電話:092-852-3132

✉ E-mail:qnet-iot@cs.jp.fujitsu.com

以上

[ページの先頭へ](#)

[ホーム](#)[社長挨拶](#)[会社概要](#)[事業内容](#)[プレスリリース](#)[2019年](#)[2018年](#)[2017年](#)[2016年](#)[2015年](#)[2014年](#)[2013年](#)[2012年](#)[バックナンバー](#)[製品＆サービス](#)[サポート＆ダウンロード](#)[採用情報](#)

PRESS RELEASE

2017年1月17日

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

センサーネットワークIoTプラットフォーム（QSIP）に
低消費電力で広域をカバー可能なLoRa通信ユニットをラインナップ

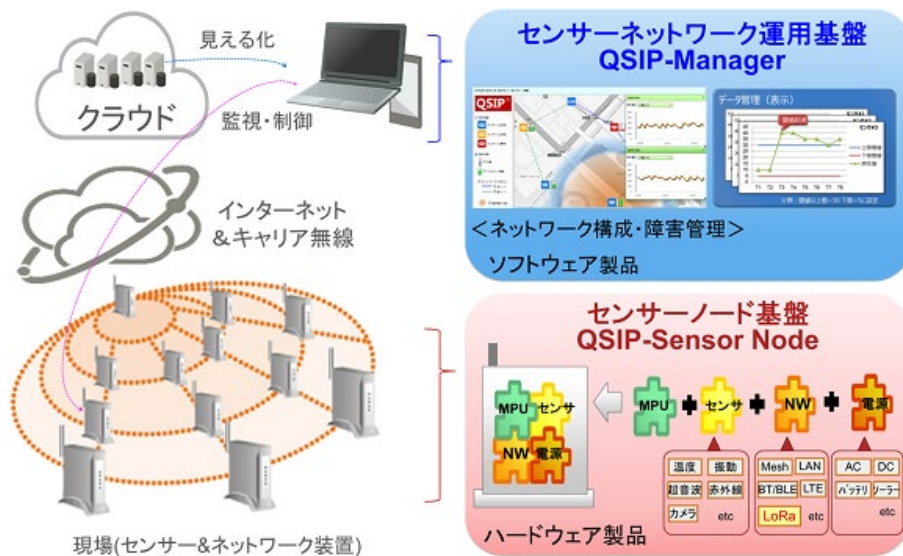
富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：棚橋 勝彦）は、低消費電力且つ広域をカバーすることが可能な無線通信技術LoRaを採用した通信ユニットを、センサーネットワークIoTプラットフォームパッケージ「QNET SensorNetwork IoT Platform」（以下、QSIP）の通信ユニットのラインナップに追加します。

製品の特徴

QSIPは、様々なセンサーやネットワークモジュールの組み合わせによるセンサーネットワークの構築から、監視と制御を行う運用システム、収集されたセンサー情報を活用するIoTアプリ等、データの収集から管理まで一括で提供することが可能なプラットフォームパッケージです。QSIPは昨年の発表以来、マンホール内の水位を測定するセンサー装置など、様々なIoT分野のセンサー装置に採用されています。

今般普及が期待されている長距離無線を実現するLPWA（Low Power Wide Area）ネットワークの一つであるLoRaについて、マンホール環境や市街地等の様々な環境で実証検証を行い、LoRa技術の実用性能を確認することができました。今回、QSIPにLoRa通信ユニットを新たにラインナップに加えて、IoTサービスの導入をご検討されるお客様に新たな価値を提供します。

【QSIPの構成概要】



【LoRa通信ユニット活用事例】

関連リンク

- [当社へのお問い合わせ](#)

このコンテンツについて

- [利用条件](#)
- [個人情報保護ポリシー](#)



防水型センサーノード

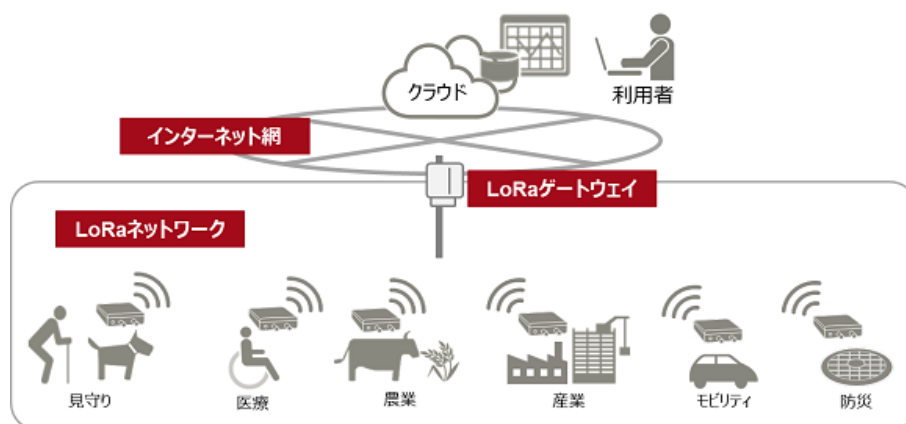


ゲートウェイ (屋外用)

【LoRaの主な適用領域】

- ① マンホール環境など無線環境的に厳しい場所でのセンシング
- ② 山中や海上など広域なエリアでのセンシング
- ③ 携帯網などの不感地帯におけるセンシングエリア拡大

システムイメージ



関連リンク

- QSIPのご紹介
 - <http://www.fujitsu.com/jp/group/qnet/services/qsip/>

お問い合わせ先

富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社

ソリューション統括部

☎ 電話:092-852-3132

✉ E-mail:qnet-iot@cs.jp.fujitsu.com

以上

[ページの先頭へ](#)